

朝日連峰・三面尾根 山行報告

(山城) 朝日連峰

(コース) あさひ湖ー(三面尾根)ー北寒江山 (往復)

(日時) 9月8日(金)～10日(日)

(参加者) 吉川 CL、柘植 SL、佐藤 (記録)



皆さん、さんめんではないです、みおもて尾根ですよ。平家の落人伝説を持ち、マタギの里と呼ばれた三面集落は昭和60年にダム建設のためその歴史に幕を閉じてしまう。三面尾根は、そんな旧三面集落が沈むあさひ湖から朝日連峰主稜へ通じる新潟側唯一の秘境ルートである。山行計画書に記載された「熊鈴」欄が必携印なのも、事前の情報収集で見た恐怖の一本橋も怖い反面、ワクワクさせられた。

9月8日(金) 一時雨～晴れ

(山行タイム) あさひ湖登山口 P 11:10ー13:10 三面避難小屋ー16:45 道陸神峰避難小屋 (泊)

千葉を朝4時に出発し、関越道、日本海東北道を経由して朝日三面 IC から下りる。途中、豊栄 SA に立ち寄るが、自動販売機だけでレストランとかの施設は皆無、こんな SA は初めてである。三面川沿いに車を走らせ、三面ダム、奥三面ダム、そしてあさひ湖へと進む。湖東端に近い林道終点、立派な広い駐車場に車を止め、支度を整えて出発した。

小さい沢を数回渡り、もののけ姫に出てきそうな森の中を歩くこと1時間、写真で見たドクロマーク罫の警告と一本つり橋が出てきた。木の幅は 10cm くらいでボロイが、支えているワイヤーは結構しっかりしている。簡易ハーネスとカラビナ架け替えで進むこともできるが、何回も繰り返さないといけなくかえってバランスを崩して危なさそう。基本の三点支持、慎重に1歩ずつカニ歩きで進んだ。最初は樹木に遮られて見えないが、少し進むと 30m くらい下に谷底が見える。落ちたら即死です(;´Д`)

吊り橋を無事渡り終えてさらに1時間進むと三面避難小屋に到着した。写真で見るよりずっと立派な小屋だ。この先、本日の泊地の道陸神峰避難小屋までは700mの急坂が続くので、小屋前でしっかり休憩してお腹に燃料を入れる。低標高&急坂&西日&それなりの荷物のおかげでかなり暑く、ダラダラと汗が流れ、目がしみる。途中、雨量計の小屋に騙され、やっとの思いで道陸神峰避難小屋に到着した。先客はいない。ここは小屋と言っても筒抜けのカマボコ状で、両端はブルーシートをかけるだけの開放的で簡素なお宿である。

荷を下ろしてじきにSLと水汲みに行く。水場は小屋から少し登山道に戻って10mほど下ったところにある。水が枯れることもあるそうだが、前日まで降雨があったし豊富だろう、と高をくくっていたが甘かった。水はチョロチョロ、しかも岩清水ではなく腐葉土の中を通り抜けてきた泥清水という感じで浮遊物や砂がとっても豊富、生で飲むのはヤバイ系である。上澄みを少しコップですくってはプラティパスに移す作業を延々と繰り返し、10L分くらいやっとならで小屋に戻る。

30~40分くらいかかったのだろうか、小屋に戻るとCLが夕食の用意をかなり進めていた。こちらは続けて水づくり作業である。シリコン漏斗にガーゼを入れて水を通して浮遊物と大きな砂を取る。これで煮沸用の水はOK、次に飲み水用にさらに浄水する。ここで(〇ラえもんの声で)スーパーデリオス~!北海道でしか使ったことのない携帯浄水器だが持ってきてよかった。こんな作業をSLと1時間くらい繰り返したところで、CLの夕食が完成。献立は焼きビーフンとポトフっぽいスープ。どちらも具・野菜が多く色鮮やかで豪華、大変うまかった。小屋に着いてからずっと水づくり作業ばかりで、いつもならお茶や酒飲んでまったりするような時間が全然なかった。雪山の水づくりのほうがよっぽど楽である。明日は水量豊富な三面避難小屋まで頑張る降ろう、と意見が一致して小屋の中にテントを張って寝た。



林道終点駐車場からスタート



出ましたドクロマーク 自己責任で渡って下さい



恐怖の一本吊り橋



三面避難小屋

9月9日(土) 晴れ～ガス～曇り

(山行タイム)小屋 05:10－06:20 P1161－07:40 大上戸山－09:20 相模山－10:50 北寒江山 11:20－12:20 相模山－16:30 道陸神峰避難小屋 (泊)

本日は三面尾根アタック日。3:30 頃アラーム音で目が覚める。まずは小屋の裏手側の斜面を登り道陸神峰に上がる。しばらく灌木帯が続く。切れ落ちているが足元に木が生えていてそうとは気づかないところもあり危ない。緩めのアップダウンを繰り返して、大上戸山までの中間地点 1161m 付近で休憩する。前日昼まで雨があったせいか、この日はとても夜露が多かった。先頭の CL は蜘蛛の巣払い、露払いで大変である。2 番手でも体じゅうビショ濡れになった。それでも下草刈りなど整備されているので道は明瞭でとても歩きやすい。ボランティアさん達に感謝。

大上戸山に近づくとヤセ尾根で岩場が出てきて、尾根唯一のクサリ場を通過する。ここまで来ると眺望がかなり開けた。特に左手の以東岳の存在感はすごい。以東岳の左肩には建て替えたばかりらしい小屋が見えた。右手には寒江山が見え、目指す北寒江山は相模山などが邪魔して見えないようだ。リーンリーン、カランカラン、チリーン、三者それぞれ音色の違った鈴を鳴らして進んでいく。途中、何回も熊の落とし物をまたいでいく。新旧いろいろ、色は山ブドウのようだが大きな種を含んだものが多かった。遭遇しなかったのは幸いだが、我々が去るのをじっとそばで待っていたのかも知れない。

大上戸山からガッと下り、相模山へガッと登り返す。大上戸山から北寒江山は 1400～1600m の稜線歩き、普通なら低山の部類だが、このアップダウンと距離は尾根というより立派な縦走路だ。相模山山頂にも三角点があるようだが見当たらず標識すらなかった。相模岳から先は雰囲気がかかりと変わる。綺麗な池を眺め、ゆったりとした登山道を楽しみながら進み、主稜線との合流地、北寒江山に到着した。主稜線もすばらしい。北海道の大雪に何度か行ったが雄大さはそれに近いものがある。

しばらく景色を堪能して来た道に戻る。下りは暑くてとても疲れた。思い出すとつらさがよみがえる

ので記録を省略します。小屋に戻ったのは16時半、だいたい予定どおりけどもうしんどい。三面避難小屋まで下る予定だったが、17時撤収として着くのは19時近くになるから暗くて急斜面は危ない。明日は水はあまり消費しないしいー、とかいろいろと理由をつけてこのまま泊まることにした。今夜は各自持参の夕食で済ませ、SLは少量のお酒でもうダウン、泥だらけでその辺に寝込んでしまう。低燃費でうらやましい。CLから朝日連峰の色々なルートをレクチャーしていただき、次回来るときの山行のイメージを膨らませて20時すぎに寝た。



道陸神峰避難小屋 小屋じゃないよね



以東岳の存在感、カッコいい



大上戸山への途中



大上戸山手前の鎖場





色づいたナナカマド



大上戸山から相模岳を望む



谷筋がすごい食い込み



相模岳を越えると草原、たおやかなトレイル



相模池（善六池） 綺麗、飲めそう



三方池



山頂までは笹原 奥は相模岳



右手の寒江山 笹葉の緑が綺麗



主稜線に出た 北寒江山の山頂標識は見つからず



寒江岳までは往復1時間弱、だけど行かない^^



狐穴小屋方面



小屋に戻って夕食

9月10日(日) 曇り

(山行タイム) 小屋 06:45-08:10 三面避難小屋-10:50 駐車場

別に急ぐ必要はないのだけれど、4:30 くらいに自然と目が覚める。各自朝食を済ませて撤収し、2日間お世話になった小屋を後にして下山にかかる。例の1本吊り橋は、2回目だけあってスムーズに通過した。三面避難小屋からは行きとほぼ同じ時間をかけてダラダラと進む。まだ午前中なので涼しいのが幸いである。ようやく駐車場に到着し歓喜、ロングでしんどい山行だったぶんこの上ない達成感に包まれる。村上の「まほろば温泉」で風呂に入ってさっぱりし、隣のみどりの里で食事とお土産を済ませ、ゆっくり帰葉した。

東北は安達太良や磐梯山など福島しか経験がなく朝日は初めてだった。しかも、いきなりディープな部分に踏み入ることができた。低標高でもそれを感じさせず、ものすごく広がりがあり雄大だった。下りではもう二度と歩きたくないなあ、と思っていたが、そのうち三面から天狗角力取山への横断コースをやってしまいそうだ。もちろん主稜線もやりたい。お二人ともありがとうございました。CLからいただいたリンゴとトマトのうまさが堪らない。朝日の素晴らしさを**身をもって**感じた山行でした^^



さすが 2 回目、余裕で手を振る CL



どこかぎこちない SL



お疲れ様でした！



おわり